

【広域ブロック自立施策推進調査】

フォローアップ報告書

調査名		14.伝統のお遍路文化を活用した風景づくり方策の実践的検討調査	
調査主体	幹事府省(庁)局課名	国土交通省四国地方整備局	
	関係府省(庁)局課名等	国土交通省四国運輸局、農林水産省中国四国農政局	
調査地域		徳島県、香川県、愛媛県、高知県	
調査年度		平成20年度	
配分額		30,001千円	
調査概要	調査内容	人口減少や高齢化によりかつての活気や景観が失われつつあるお遍路道を軸とする周辺地域における具体的な景観づくりをモデル事例として推進することにより、「お接待」、「普請」という四国固有の地域文化を保全し活用するための、多様な主体が参加する実践的な「取組指針」を整備することで、四国八十八箇所霊場の遍路道周辺地域の地域資源についての魅力向上や地域づくり支援を実施した。	
	調査結果(成果)	国、地方公共団体、地域住民等において、これまで個別に取り組みれていた活動の実態及び推進に向けた課題について、整理・把握を行った。また地域へのアンケート及びヒアリング調査を通して良好な景観や地域の歴史・文化・伝統の喪失といった現在の問題、対策を講じなければ良好な景観等に影響を与える問題点等を抽出し、把握を行った。これらを踏まえ、四国各地における景観・風景づくりの気運を高め、多様な主体が参加・行動するための実践的な「取組指針」の策定を行った。	
	関係する広域地方計画(中間整理(案)等)	平成21年6月四国圏広域地方計画(計画原案)第3部第3章第2節・第4部プロジェクトNo. 8	
		調査結果の活用状況	調査結果を受けた具体化
計画	期待される効果等	<ul style="list-style-type: none"> ・四国各地域において景観保全に関する検討会議が開催予定。 ・遍路文化に関する検討会議を開催予定。 ・遍路道を通じた地域連携による環境整備を検討開始予定。 ・有識者やNPOを含めた会議を開催予定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・四国圏広域地方計画第3部第3章第2節において、遍路文化の魅力を活かした地域づくりを進めることを記載予定。 ・四国圏広域地方計画第4部プロジェクトNO. 8において、関連主体が連携して取り組むことを記載予定。 ・地域の検討会議や交流会議の実施により景観・風景づくりに関する活動が開始予定。
	平成21年度	・連絡調整会議の中で、札所周辺及び遍路道の保全・整備や景観形成を進めるための検討を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成21年8月、四国圏広域地方計画に連携した取組である広域プロジェクトとしてNO. 8「四国霊場八十八箇所と遍路文化による地域をつなぐプロジェクト」を位置づけ。 ・多様な主体が連携して、取組を推進するため、「お遍路を活かしたまちづくり・地域づくりの推進のための連絡調整会議」が設立。
フォローアップ	平成22年度	・連絡調整会議の中で、札所周辺及び遍路道の保全・整備や景観形成を進めるための検討を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・平成22年3月、多様な主体が連携して取組を推進する「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会が設立。 ・連絡調整会議構成員等により、景観に配慮した札所周辺の整備、旧遍路道の復元等の取組を実施。
	平成23年度	・「受入態勢の整備」部会の中で、札所周辺及び遍路道の保全・整備や景観形成を進めるための検討を実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・より連携を強化するため、「お遍路を活かしたまちづくり・地域づくりの推進のための連絡調整会議」が、「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会の部会(「受入態勢の整備」)に移行。 ・「受入態勢の整備」部会として、地域の文化・景観に配慮した取組を行うことなどを記載した取組方針を策定。
	総括的評価	多様な主体が参加・行動するための実践的な「取組指針」の整備により、連携した取組体制が設立され、お遍路を活かしたまちづくり・景観形成等の取組が推進。よって当初の期待された効果は達成されたと考えられる。	